

第2回  
定例会

## 一般質問

第2回定例会の一般質問は、6月17日、18日、19日の3日間行われ、13名の議員が登壇し、市政全般について質問がされました。

一般質問とは、執行部に対し施策・事業等の現況や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をたずため行うものです。各議員の質問と答弁の要旨をお知らせします。



青木 和夫 議員

## 古河駅東部土地区画整理事業について

**問** 事業計画決定から20年以上経過しているにもかかわらず、進捗率が約50%は異常事態といえる。新市建設計画の中でも文化交流拠点として位置づけられ、先導的プロジェクトの重要項目の一つとされている。大幅に計画が遅れているこの事業に、集中的に人と資金を投入し、早期完成を目指して取り組むよう強く要望するが、市長の考え、英断を求める。

**答（市長）** 資金については、国、県の予算が必要なため、陳情、要望活動が続けていきたい。また、市の事業に関わる県事業を進めていただくために、職員を県土木部に派遣している。区画整理地の道路網を整備したことで民間の土地開発業者からの問い合わせもきている。事業完成に向け、進めていきたい。

**答（企画政策部長）** 文化施設については、古河市が茨城県西地域の中心都市として、また、市民が豊かに暮らしていく上で必要であると感じている。市民の意向をしっかりと聞き、さらなる検討を行い進めていきたい。

**答（都市建設部長）** 事業が遅れた原因として、大幅な事業計画の変更がある。古河赤十字病院の移転と総合的文化施設設置計

画で、大街区の保留地を生み出す必要があり、道路等の公共施設整備計画および換地計画の変更が伴い時間を要した。また、整備を始める前に、建設廃材等で埋められたごみの撤去を行う必要があり、事業期間が長期になっている。



開発の進む土地区画整理事業

## ≪その他の質問≫

- ・雨水対策について